



# 友達になろう

## BE A FRIEND

1994—95年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ビル・ハントレー ●第2560地区ガバナー 大島 精次
- 会長——高橋 一夫 ●副会長——石橋 育於
- 幹事——五十嵐晋三 ●副幹事——松谷 昊吉
- SAA——平原 信行 ●副SAA——清水 良一 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 35-3477  
FAX 32-7095

出席者会員数	会員 79名中 52名
先々週出席率	88.00% (前年同期 92.41%)
ビジター	三条北より 中條耕二さん
ゲスト	三条市長 内山裕一殿

会長挨拶 高橋(一)会長

皆さん、明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願い致します。今日は私どもの第一例会ということで名誉会員の内山市長がおいでになっております。私の挨拶が終わると内山市長さんから新春のご挨拶をいただくということになっております。内山さん、よろしくお願い致します。又第一例会に北クラブから中条さん、ようこそいらっしゃいました。

私どもはこの4、5年の間テレビとか新聞を通して行政改革、規制緩和、企業間格差、産業の空洞化、価格破壊等の言葉を目や耳からずっと聞いております。昨年は実体験として価格破壊の物凄さを感じさせられた年でした。暮には今まで護送船団と言われた金融機

関がくじ付きの定期預金を出すとか、東京の信用組合2つが倒産して出資者には返ってこないとかの形の中での規制緩和の兆しというようなものもみせつけられました。

今年は新しい法律の下で選挙が行なわれるという中で、今まで目とか耳とかでしか感じられなかったものが実体験として感じさせられる年のスタートのような気がしてなりません。そういうような時というのは当然社会のルールが変わるのですから、いろいろな所で歪みが出てくるわけです。そのような歪みは後になれば種々の法律でそれを救済することは出来るでしょうが、当座は様々な形の中で不公平なことが出てくることでしょう。

私はそういった時こそロータリーというもの、あるいはロータリアンというものの真価が問われるのではないかという気がしてなりません。アメリカ辺りの話や昨年我が家に来たフランスの子供達の話ですと、ボランティアというものが彼らには言葉だけのものではなく身に付いているということです。一つや二つそういうものを持っているのが当たり前ということです。

おそらく規制緩和とかいろいろなことでのルールが欧米式になってきますと私どももそういうふうになってくるのではないかと感じます。そういう意味で日本においてロータリーとかロータリアンの真価が問われる年になるような気がしてなりません。

皆さん、お体に充分気をつけて、よい年にしていただきたいと思います。これをもって新年の挨拶といたします。

### 1月のお祝い

◎会員誕生祝 2日 大谷幸平さん 11日 五十嵐昭一さん 11日 五十嵐晋三さん  
20日 小越憲泰さん 23日 池田俊一さん 23日 丸山行彦さん  
27日 野水文治さん

◎夫人誕生祝 1日 林 一枝さん(光輝) 1日 三堀市江さん(正純)  
2日 杉野美智子さん(奎司) 3日 金子カズさん(左武郎)  
5日 田中眞智子さん(昭) 11日 山本晴子さん(福七)  
13日 岩井康子さん(数央) 14日 鈴木澄子さん(宗資)  
18日 松谷ムツ子さん(昊吉) 19日 五十嵐芳江さん(力)  
20日 小林恵智子さん(英雄) 7日 渡辺美代さん(勝利)  
31日 佐久間寛子さん(勝敏) 31日 小柳由紀子さん(直人)

◎結婚記念祝 7日 捧 賢一さん 8日 内山昭二さん 14日 長谷川有美さん  
26日 岩井数央さん

◎100%出席賞 25年 吉井俊介さん 11年 五十嵐晋三さん 11年 五十嵐昭一さん  
5年 山浦日出夫さん 5年 斎藤弘文さん 3年 石橋育於さん  
2年 丸山行彦さん

◎100%出席賞(6ヶ月) 池田俊一さん 内山昭二さん 川又嘉瑞範さん  
佐久間勝敏さん 佐野勝栄さん 三堀正純さん

ニコニコBOX ¥64,000

1月4日分

内山(裕)さん

中条さん(三条北クラブ)

新年おめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祝い申し上げます。

高橋(一)さん

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈いします。市長さんよくいらっしゃいました。よろしくお祈いいたします。

平原(信)さん

新年あけましておめでとうございます。マイクをにぎって半年、あと半年皆様のご協力よろしくお祈いいたします。

広岡さん

新春初例会の御弁当を作らせて頂きまして有難うございました。プロッコリーの松、竹の子の竹、人参の梅に見立てました。

日戸さん

明けましておめでとうございます。本年も宜しく。

内山(昭)さん

今年もよろしく、お祈い致します。GSM時の写真ありがとうございました。

小林(正)さん

新年おめでとうございます。今年もよろしくお祈い致します。都合に依り早退させて頂きます。

寺沢(洋)さん

おかげさまで年末商戦、初売商戦忙しい、毎日が続きました。今年も一年よろしくお祈いします。

菊池さん

新年おめでとうございます。今年こそ、世界中から戦火が消えることを願っています。

宇溜間さん

新年明けましてお目出度うございます。本年も宜しくお祈い申し上げます。

高森さん

良い年であります様に、今年も宜しくお祈い致します。

寺沢(博)さん

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈いいたします。

荻野さん

新年、明けましておめでとうございます。本年も宜しくお祈い申し上げます。

斎藤(隆)さん

明けましておめでとうございます、本年もよろしくお祈いいたします。

三堀さん

新年おめでとう御ざいます。本年も宜しくお祈い申し上げます。

西山さん

明けましておめでとうございます。

田中さん

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈い致します。

佐藤(武)さん 明けましておめでとうございます。

丸山さん 明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

細井さん 今年も宜しくおねがい致します、皆様方にとって今年も良い年であり  
ますように。

松谷さん 明けましておめでとうございます、本年もよろしくお願いいたします。

小林(九)さん 明けましておめでとうございます、今年こそはよい年になりますよう  
に。

清水さん 明けましておめでとうございます。本年もご指導の程よろしくお願  
い致します。

滝沢さん 明けましておめでとうございます、本年もよろしく。

吉井さん 明けましておめでとう御座います。

斎藤(弘)さん 新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願  
い致します。

杉野さん 新年明けましておめでとうございます。皆様からの年賀状ありが  
とうございました。心からお礼を申し上げます。

渋谷(正)さん 明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願  
いいたします。

山浦さん 明けましてお目出とうございます。本年もよろしくお願  
いいたします。

五十嵐(寿)さん あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願  
い致します。

野村さん 「謹賀新年」本年も宜しく願上げます。

渋谷(健)さん 明けましておめでとうございます。

内山(辰)さん 明けまして。

渡辺(宏)さん 本年もよろしく、お願い申し上げます。

古澤さん 平成7年の年が良い年となります様に。

五十嵐(晋)さん 新年おめでとう御座居ます、本年もよろしくお願  
いいたします。

石橋さん 新年おめでとう御座居ます。本年もよろしくお願  
い致します。

藤田(説)さん 明けましておめでとうございます。

瀬下さん 新年おめでとうございます。本年もよろしくお願  
い致します。

高橋(政)さん 新年早々ですが、都合により早退させていただきます。

### 年頭の挨拶

名誉会員 内山裕一殿

明けましておめでとうございます。昨年中、皆様  
大変お世話になりながらご無沙汰いたしておりまして  
本当に申し訳なく思っております。

今日は仲間内であるわけでございますし、新聞社も  
いないそうですし、放談会ということでお話しさせて  
いただきたいと思います。

私が皆様のお力添えをいただきまして、市長に当選  
させていただいた昭和58年は市制50周年でございま  
した。私が11代目でございます。50年の間に10人の市長  
さんが変わられました。平均寿命5年、「使い捨てだ  
なァ」と考えたわけでございます。

しかしお陰様でどういわけか12年勤めさせていただくことになりました。20市の市長  
会でも今私より古い方は新発田市の近さんだけでございます。その後五泉市の林さんと  
私が同期で続いているということです。昨年全国市長会から12年功労ということで表彰し  
ていただきました。私は表彰などは大嫌いですので、要らないと申し上げたのですが、  
「三条市では初めて貰うものだからどうしても貰ってくれ」と職員がいうものでした  
のでいただきました。これも偏に皆様方の御支援の賜物と心から御礼申し上げる次第でござ  
います。

市政の話をしてますとすぐに「財政難」とか「非常に苦しい」とかの言葉が次々に出てく  
るわけですが、私は例えば公債費の比率が20%を超えると起債制限があるとか、いろんな  
ことがいわれていますが、そういった面では心配はしておりません。と言いますのも職員  
が頑張ってくれまして、いわゆる不良債といいますが利息が高いときに借りた市債とか10  
0%利息を付けて返さなければいけないような市債については今年度5億円ばかり返済を  
させていただきました。各種の財政事情によって違うわけですが、だいたい40%~50%位  
を国が利子も付けて面倒をみってくれるという、私どもが俗に優良債と言っているもので  
すが、今全部それに切り替えるようにしております。

従って見かけの金額より実際の借金は少ないというふうに理解していただきたいと思っ  
ております。

公債比率の他に議員さんにも秘密にしておるわけですが、(起債制限比率)というもの  
がありまして、それが20%になると現実に借金が出来ないということになるわけです。そ  
の(起債制限比率)にはまだはるかに距離がありますので、そういった面では心配して  
おりません。

けれども公共事業を取ります場合の裏負担といいますが、自由に使える本当のお金が毎

年ないということで予算案を作るのに事務当局は大変苦勞しております。何とか新しい財源を見つけながら取り組んでいるところです。

御承知のように中央の政界が混乱しておりまして、そのつけが全部地方に回ってまいります。一例を申しますと今年は厚生省で保育所あるいは特別養護老人ホームが全国の要望額の65%で切り捨てられました。三条の条南保育所の改築計画も2年計画ということで議会から認めてもらったのですが、どういう加減かこの3月の補正で「今年度中に後35%全部取ってしまえ」ということになりました。その事務作業が大変なわけですね。厚生省だけでなく他に農林省関係ですと、私どもが平成7年度に予算で要望しておりましたものを一括全部この3月平成6年度で取ってくれ、そうすれば起債の分も起債の75%は国が面倒をみてやる、三条市の出す一般財源も(起債)は認めてそれに対しても国が面倒をみる、ということで全部取らされました。

初め断わったのですが、県の部長さん、国の出先の農政局さんあたりから「是非これは取ってくれ」ということでやむなく3月の補正予算で取ることになりました。お陰で平成7年度は何もないようなことになりました。

要するに平成7年度予算の目玉が何もなくなって、全部この3月の補正予算でかたづけてしまわなければいけないということになったわけです。

国が混乱していますと地方の仕事が二重手間をかけながら対応していかなければならないということになり、今職員は夜を日に次いでその作業をやっているという現状でございます。

そういうことで平成6年度はマイナスの予算を組ましていただいたのですが、「二ケ年連続マイナスは絶対まかりならん」ということを事務当局に申し上げておりましたが、この調子で行くとそうになってしまうのかと考えております。

そういうことで市の持ち出しはほとんどないわけでございます。結果的にはアメをほうばされたというふうになったわけです。

どなたかが議会で「おまえはもうこの次は出ないのだから、いわゆる通年予算を組まないで骨格予算を組んだらどうか」という指摘をされたわけですが、御承知のように三条市が第3次振興整備計画というものの大きな柱になっておりまして、その中期計画の2年目という一番大事な年にあたっております。どなたが市長になられても、おそらくこれを無視して予算を組むわけにいかないだろうということで通年予算を組ませていただいたわけです。

来年度の目玉として考えておりましたのが大崎地区の農村体験センターです。これを5億円レベルで造らせていただく今計画しているわけです。

それは農村と農村以外の市民の方との交流を図ろうという目的で造らせてもらうということで、その中には果樹のオーナー制度、子供達が一緒にいもほりをしたり南京豆を植え

たりする所や加工品(みそ、醤油、蕎麦)も出来るようなものを造らせていただく予定で、設計もユニークなものが出来上がっております。今後これを議会に示しながら自主設計に移していくという段階です。

大崎地区(旧大崎村)は人口が13,000人ほどですが、そこには施設が何もない。小さい公民館が一つ有るだけということで、議会の度毎にそちらの方の議員さんからいろいろお話しがあったものです。多目的ホールで500~600人入るものを造らせていただき、それを集会所代わりに使っていただくということですね。造ってしまえばランニングコストは掛からないと思っています。3年間は国が面倒をみてくれますし、家庭菜園等から年間一口2,000円をいただくような制度でだいたい500~600万円位の年収ができるようでございます。そのお金でなんとか運営できるのではなかろうかと考えております。

そういうものを来年の目玉にしておりましたがそれを全部今年取ってしまわなければならないということでございます。そういうことで一部の御指摘があるように骨格予算でなくて通年予算を組ませていただきバトンタッチをさせていただこうと思っています。

ただ、議会でも申し上げたのですが私は市長選挙には出ないと申し上げただけで他のものに出るかもしれませんので……これはジョークでございますが……

12年間皆様の御支援をいただいた中で大過も有りました。地方自治法の違反もしました。けれど幸いにして罰則がございませんのでなんとかお詫びをし、済まさせていただきましたこともありました。いろんなことがありましたが、任期を全うできそうであるということをお大変喜んでおります。これも皆さんのお陰でございます。

今年一年皆様のお世話になることと思っておりますが、よろしく願い申し上げまして新春のご挨拶にさせていただきます。ありがとうございました。

(文責 委員会)

